

# 図書・資料室だより



11月12日(土) から 11月25日(金) まで  
「女性に対する暴力をなくす運動」が実施されます

暴力は、その対象者の性別や加害者・被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありません。特に、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。また、女性に対する暴力の根底には、女性の人権の軽視があることから、女性の人権の尊重のための意識啓発や教育の充実を図ることが大切です。

## 『生皮』

あるセクシャルハラスメントの光景』  
井上荒野 // 著

朝日新聞出版 2022年

小説講座の人気講師が性暴力で告発された。なぜセクハラは起きたのか？被害者、加害者、その家族、関係者たち、さらにはメディア、SNS を巻き込みながら、性被害をめぐる当事者たちの生々しい感情を描きます。

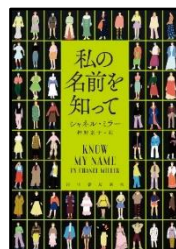


## 『私の名前を知って』

シャネル・ミラー // 著  
押野素子 // 訳

河出書房新社 2021年

米スタンフォード大で、有名な白人水泳選手が起こした性暴力事件。その判決はわずか禁固6ヶ月…。被害者である著者が、自分自身を取り戻すために、社会や司法制度が抱える差別や抑圧に挑んだ衝撃的な回想録です。



## 『性暴力被害の実際』

被害はどのように起き、どう回復するのか』  
齋藤梓 / 大竹裕子 // 編著  
金剛出版 2020年

性暴力被害とは何か？望まない性交を経験した当事者による「語り」から、同意のない性交が起こるプロセス、被害当事者の人生に及ぼす影響、そして回復への道のりと必要な支援を考えます。



## 『黙殺される教師の「性暴力」』

南彰 // 著  
朝日新聞出版 2022年

なかなか表ざたにされない学校での性犯罪の実態を、実在する被害者の母親の視点から描く一冊です。子どもの性被害に向き合えない学校の態度。その後の長い裁判闘争から、性暴力被害者の救済を阻んでいる構造を明らかにします。



## 『告発と呼ばれるものの周辺で』

小川たまか // 著  
亜紀書房 2022年

性犯罪、性暴力に対して声を上げてもなかなか信じてもらえず、単に告発だと受け取られてしまう。そんな小さな声を集めました。性犯罪、性暴力への誤解や偏見をほぐし、やさしい社会を築くために。



## 『わたしは黙らない』

性暴力をなくすための30の視点』  
合同出版編集部 // 編  
合同出版 2021年

「性暴力」について語ろうとする人の口をふさぎ続けてきたわたしたちの社会。性暴力に苦しむ人々、支える人々のさまざまな言葉を紹介し、勇気を出して声をあげて、黙らないで支え合える社会をめざします。



# ★新しい本入りました

『夜に星を放つ』  
窪美澄 // 著



『ヤングケアラーってなんだろう』  
澁谷智子 // 著



『かくれ織細さんの  
「やりたいこと」の  
見つけ方』  
時田ひさ子 // 著



『母親になって後悔してる』  
オルナ・ドーナト // 著

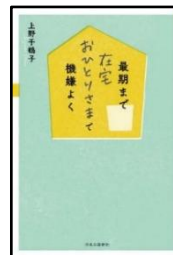
『男女平等への長い列  
私の履歴書』  
赤松良子 // 著



『スポーツ毒親  
暴力・性虐待になぜわが子を  
差し出すのか』  
島沢優子 // 著



『最後まで在宅おひとりさま  
で機嫌よく』  
上野千鶴子 // 著



『最新版 定年までに知らないとお金のお話』  
岡崎充輝 // 著

## G-NET シネマ

『マイ・シスターズ・キッズ』 《字幕作品》

2001年/デンマーク/81分

子育て経験なしの児童心理学者と5人の子どもたちが繰り広げるハートウォーミングストーリー。児童心理学者のエリックは、ある日、妹夫婦の子どもたちの面倒を見ることに、ところがいたずら盛りの子どもたちにエリックの理論は全く役に立たず…

12月17日(土) 13:30~

男女共同参画センター“G-NETしが” 大ホール

無料託児あり：12/10(土)までにお申し込みください。

### 図書・資料室 ご利用案内

- 開室時間 9:00~17:00
- 11月の休室日 4日, 7日, 14日, 21日, 24日, 28日
- 貸出(本・雑誌) 15冊 3週間まで  
(DVD) 2本 1週間まで
- お問い合わせ先(電話)  
0748-37-3735(図書・資料室直通)  
0748-37-3751(センター代表)

※新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため、休室日については変更になることがあります。



### 男女共同参画 絵本を紹介



『ゆきちゃんは、ぼくのと  
もだち!』

武田美穂 // 作・絵  
童心社 2022年

ゆきちゃんはぼくのおばあちゃん。このごろときどきへんなんだ。ぼくのことわからなくなるし、なんだか「むかし」にかえってしまうみたい。話がぜんぜんつじなかつたり、すごくまるくもあるけれど、でもゆきちゃんはずっとぼくのともだちだ!!